



# 美しい 県土づくりNEWS

2022年

4月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第 213 号  
令和 4 年 4 月 28 日発行  
編集 県土整備企画室

## 目次

- 2 令和 4 年度 県土整備部の幹部職員
- 3 令和 4 年東北初！「にっぽん丸」大船渡港寄港！！
- 4 宮古港出崎地区 「しおかぜ公園」オープン！！
- 6 【復興支援道路】国道 342 号白崖工区が全線開通！  
県内の復興支援道路整備完了！！
- 7 建設業担い手育成支援動画を令和 4 年 3 月から YouTube で  
公開しています！
- 9 「いわてサイクルステーション」登録制度を創設しました！！  
～ 自転車を活用した観光振興等の促進 ～
- 11 いわたの川と海岸ボランティア活動等支援制度のお知らせ
- 12 洪水から守ろうみんなの地域！～ 5 月は水防月間です～



## 令和 4 年度県土整備部 新体制でスタート ～キーワードは「その先へ」～

令和 4 年度の県土整備部は、田中部長のもと、東京都、神奈川県から派遣された 3 名の応援職員と 21 名の新採用職員を加えた総勢 720 名の新しい体制でスタートしました。

発災以降、県土整備部は全国の自治体から継続的な人的支援をいただいております、今年度は復興道路等の整備、海岸保全施設の復旧事業、台風第 19 号災害に係る用地補償業務を支援していただきます。

今年度は、「我が県土 ともに支え育む 希望郷 ～復興の総仕上げとその先へ～」を組織のキャッチコピーとし、次の 5 つを部のミッションとして業務に取り組みます。

- 1 東日本大震災津波からの復旧・復興事業（ハード）の一日も早い完成
- 2 2 度の台風被害からの早期復旧や老朽化対策等による国土強靱化の推進
- 3 人口減少（社会減）対策やグリーン社会の実現に向けた取組の推進
- 4 安全・安心な暮らしや産業振興を支援する社会資本の整備と適切な管理
- 5 建設業の魅力の発信と生産性向上や働き方改革の推進



小島副部長  
兼県土整備企画室長

加藤技監  
兼河川港湾担当技監

田中部長

幸野技監  
兼道路担当技監

上澤まちづくり担当技監

令和 4 年度の県土整備部幹部職員

## 令和4年度 県土整備部の幹部職員

### 県土整備部長 田中 隆司 (たなか りゅうじ)



手書きの設計書だった昭和入庁世代としては、モバイルワーク、ペーパーレスなど職場環境の急激な変化に、なかなかついていけません、「習うより慣れろ」で、働き方改革を率先していきます。

2022年度は、残っている復興事業の一日も早い完成と、カーボンニュートラル等の新しい潮流をしっかりと捉えながら、「復興の総仕上げとその先を示す1年」となるよう取り組んでいきます。

1年間、よろしくお願いいたします。

### 技監兼河川港湾担当技監 加藤 智博 (かとう とみひろ)



昨年7月に着任し9か月が経ちました。県土整備部の業務は、自然災害から県民の生命・財産を守り、県民の生活を支え、暮らしを豊かにする、とても大切な仕事だと日々感じています。今年度も引き続き、皆さんと一緒に、明るく楽しく、前向きに業務を進めていきたいと思えます。宜しくお願い致します。

オフは県内の道の駅やダム、観光地等を巡っています。また、骨折した膝が完治したので、今年は盛岡シティマラソンにチャレンジします！

### 技監兼道路担当技監 幸野 聖一 (こうの せいいち)



昨年度に引き続き道路を担当します。震災関連の道路整備は残り2箇所。夏前の完成まであと一息、しっかり仕上げましょう。

今年度一杯で県職員生活を終えますが、これまで、空港を除いた各分野に携わってきたので、その経験を活かして県土整備行政の推進に貢献できればと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

(出身地は盛岡市。幸野という苗字は父親の実家の江刺が起源。)

### 副部長兼県土整備企画室長 小島 純 (おじま じゅん)



昨年度は、久しぶりの県土整備部勤務で、あれもこれもと考えているだけで1年が過ぎてしまったような気がします。

コロナ対応も続いており、全庁的に腰を据えた業務遂行が難しい環境にもありますが、昨年度の経験も生かしながら、県土整備部の皆さんが業務に一層邁進できるよう取り組んでいきます。何でも気軽にお声がけください。

どうぞよろしくお願いいたします。

出身地：一関市大東町大原（実家は、ILC建設予定地の上に位置しています。)

### まちづくり担当技監 上澤 和哉 (かみさわ かずや)



県土整備部は、

- ① その活動は、広く県民を対象とした「福祉業(安全・安心)」
- ② 業種は、「サービス業」そして「広報業」
- ③ その職員は、「サービスマン」そして「広報マン」

良い物をしっかりと造り、適切な維持・管理で後世に残す。

情報発信にも積極的に取り組んでいきましょう。

風通しの良い職場づくり、人間関係づくりは、職員一人ひとりの意識と行動から。お互いの気遣いを大事にしたいと思います。

宜しくお願いします。

令和4年東北初！

# 「にっぽん丸」大船渡港寄港!!

港湾課



3月30日(水)、商船三井客船㈱が運航するクルーズ船「にっぽん丸(全長166.6m、総トン数22,472t、乗客定員524人)」が大船渡港に寄港しました。大船渡港へのクルーズ船の寄港は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、令和3年4月以来、約1年ぶりとなりました。

にっぽん丸は乗客約150名を乗せて、午前8時頃に大船渡港野々田岸壁に着岸しました。歓迎セレモニーでは、大船渡商工会議所女性会のメンバーが太鼓演奏を披露し、乗客を出迎えました。

乗客は、碁石海岸景勝地や東日本大震災津波伝承館、高田松原津波復興祈念公園等を訪れるツアーに参加したり、三陸鉄道リアス線の「震災学習列車」に乗り、震災当時の様子や現在の状況などの説明を聞きながら、車窓からの三陸の景色を満喫していました。

午後6時過ぎ、にっぽん丸は横浜港へ向け、大船渡港を出港しました。

県では、今後も港湾所在市や関係機関との連携により感染防止対策へ配慮しながら、コロナ禍においても安心・安全な寄港受入に努めていきます。



大漁旗や横断幕で寄港を歓迎



にっぽん丸を見送る打ち上げ花火



太鼓演奏とおおふなトンによるお見送り

## 宮古港出崎地区

# 「しおかぜ公園」オープン!!!

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

宮古港の出崎地区に、令和4年4月1日「しおかぜ公園」がオープンしました！

出崎地区は、宮古市中心市街地や名勝浄土ヶ浜にほど近く、「道の駅みやこシートピアなあと」が立地する、多くの観光客などで賑わうエリアです。

本事業は、出崎地区の観光交流拠点施設としての機能向上を目的に、昭和63年度から整備が進められてきたもので、隣接する「魚市場」や「道の駅みやこシートピアなあと」とともに、宮古地区の賑わいの拠点として期待が寄せられています。

今回新たに約2.6haの埋め立てを行い、遊覧船ターミナルとともに完成したのが「しおかぜ公園」です。



展望広場からの眺望



なお、同エリアに整備された遊覧船ターミナル(-4.0m物揚場)では、宮古市が整備を進めている遊覧船「宮古うみねこ丸」が、令和4年7月に就航予定であり、出崎地区と浄土ヶ浜地区を繋ぐ新たな観光の目玉となることが期待されています。

「宮古うみねこ丸」発着所



この夏はぜひ宮古においでください！



【復興支援道路】

しらがけ

国道 342 号白崖工区が全線開通！

県内の復興支援道路整備完了!!

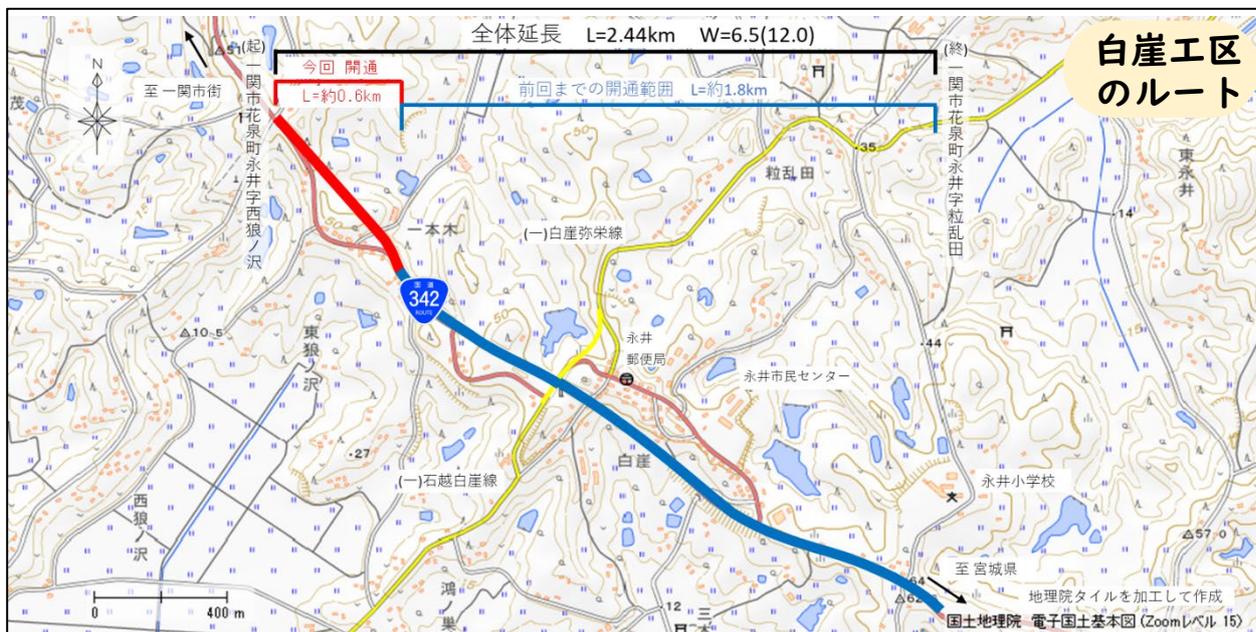
県南広域振興局土木部一関土木センター

県が「復興支援道路」に位置付け整備を進めてきた一般国道 342 号白崖工区 (L=2.44km) が令和 4 年 3 月 29 日 (火) に全線開通しました。

当路線は岩手県県南地域と宮城県県北地域を結ぶ主要幹線道路であり、災害時には優先的に通行を確保する緊急輸送道路、また、東日本大震災津波で被災した沿岸地域の復旧・復興を支援する復興支援道路に位置付けられています。当路線の全線開通により、復興支援道路として整備を進めてきた県内 38 箇所全ての整備が完了しました。

全線開通に伴う幅員狭小、急勾配・線形不良等の通行支障箇所の解消により、一関地域の発展と安全・安心の確保に貢献するとともに、物流の効率化による沿岸地域の復興の支えとなることが期待されます。

開通後の様子



# 建設業担い手育成支援動画を令和4年3月からYouTubeで公開しています！

盛岡広域振興局土木部

県では、建設業への入職・定着促進事業の一環として、ドローンや建設 ICT(※1)など新技術の導入が進み、若者や女性が活躍する「今」の建設業を紹介する動画を作成し、令和4年3月25日から岩手県公式動画チャンネル (YouTube) で公開しています。

今後は、動画を広く県民の皆さまに視聴していただくことはもとより、多くの学生に建設業を知ってもらい、職業選択肢のひとつとしてもらうため、盛岡管内の中学校や高等学校に対し動画の周知を行うほか、動画を活用した出前授業の実施等、建設業のやりがいや魅力をPRしていく予定です。

## 人々の生活を強く支え 優しく守る 建設業 (約10分)

建設業に関する次の内容について、実際に働く若者や女性のインタビューを交え、分かりやすく紹介しています。

- 建設業の役割
- 建設業の仕事の種類
- 建設業の新技術 (ドローン、建設 ICT、3DCAD(※2))

(※1)建設ICT：建設現場の無駄を減らし、生産性向上を可能とする情報通信技術

(※2)3DCAD：3次元の設計図を作成するソフト

URL: [https://youtu.be/o-\\_nadTTAP4](https://youtu.be/o-_nadTTAP4)



10分版タイトル画面

## 進化する建設業 (約3分)

新技術の導入が進む建設業の仕事をコンパクトに紹介しています。

URL: [https://youtu.be/750es\\_OmMQU](https://youtu.be/750es_OmMQU)



3分版タイトル画面

### 企画制作

盛岡広域振興局土木部

### 協力

一般社団法人岩手県建設業協会盛岡支部

一般社団法人岩手県測量設計業協会

動画は、「**盛岡土木 動画**」で検索  
または **右のQRコード** よりご覧ください！



# 私ができる 自分の住む まちづくり

動画で分かる!▶▶▶▶  
最新の建設業の仕事



Construction industry



街に当たり前にある建物、道路、川、橋など  
私たちの暮らしを支える建設業はすぐ身近な存在。  
新技術を使い、若者たちが活躍する「今」の建設業を  
動画でご紹介します。

▶ 人々の生活を強く支え 優しく守る 建設業(約10分)

建設業の仕事を実際に働く若者や女性のインタビューを交え、分かりやすく紹介しています。

▶ 進化する建設業(約3分)

新技術の導入が進む建設業の仕事をコンパクトに紹介しています。

■企画・制作：岩手県 盛岡広域振興局土木部 ■協力：一般社団法人岩手県建設業協会盛岡支部、一般社団法人岩手県測量設計業協会

仕事のやりがい!  
進化する建設業!



盛岡土木 動画 検索

またはQRコードからアクセス!

# 「いわてサイクルステーション」登録制度を創設しました!!

～ 自転車を活用した観光振興等の促進 ～

## 道路環境課

岩手県では、令和3年3月に策定した**岩手県自転車活用推進計画**に基づき、サイクリストなどの自転車利用者へ提供するサービスの充実を図り、本県における**自転車を活用した観光振興等を促進**することを目的として、サイクルラック設置等の所定の要件を満たす道の駅等の施設を県が「**いわてサイクルステーション**」として登録する新たな制度を**令和4年4月1日から**スタートしました。

**東北各県では初めての取組**であり、本制度等を活用し、本県のサイクリング環境の創出に取り組んでいきます。

### ～登録要件～



県内に所在し、次の①～⑤を満たす施設※1

- ① **トイレ**が備わっていること。
- ② ベンチ等の**休憩所**が備わっていること。
- ③ **サイクルラック**※2が備わっていること。
- ④ **自転車修理用工具**※3が貸出可能であること。
- ⑤ **空気入れポンプ**※4が貸出可能であること。

※1 営業時間内に①～⑤を無償で利用できること    ※2 自立が困難なスポーツサイクルが駐輪可能な設備  
 ※3 簡易的な自転車の修理及び整備が可能な工具  
 ※4 英式、米式及び仏式バルブに対応、空気圧を確認できる目盛り付き

### ～「いわてサイクルステーション」に登録されると～

- 「いわてサイクルステーション」の登録施設であることを示す登録証、ステッカー、のぼり旗を交付します。
- 岩手県のホームページ等で「いわてサイクルステーション」の登録施設として広報します。

＜ステッカー＞



＜のぼり旗＞



【問い合わせ先】岩手県 県土整備部 道路環境課  
 TEL : 019-629-5878 Email : [AG0004@pref.iwate.jp](mailto:AG0004@pref.iwate.jp)

【いわてサイクルステーション登録制度】

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/douro/bicycle/1053036.html>

～登録要件の詳細～

道の駅、観光施設、飲食店、コンビニエンスストア及び宿泊施設等の県内に所在する施設で、次の①～⑤を満たす施設※

※ 営業時間内に①～⑤を無償で利用できること。

①トイレが備わっていること。



②ベンチ等の休憩所が備わっていること。



③サイクルラックが備わっていること。

～サイクルラック～

自立が困難なスポーツサイクルを引っ掛けて固定するための駐輪設備であって、同時に3台以上駐輪することができ、かつ耐久性を有するもの。



④自転車修理用工具を配備し、自転車利用者の申し出に応じ貸出が可能であること。

～自転車修理用工具～

タイヤレバー、六角レンチ及びプラスドライバー等の簡易的な自転車の修理及び整備が可能な工具。



⑤空気入れポンプを配備し、自転車利用者の申し出に応じ貸出が可能であること。

～空気入れポンプ～

英式、米式及び仏式バルブに対応し、空気圧を確認できる目盛りのついた空気入れ。



## いわての川と海岸ボランティア活動等支援制度のお知らせ

河川課

いわての川と海岸ボランティア活動等支援制度(以下「支援制度」という。)は、**県の管理する河川又は海岸**において、地域住民が愛情を持ち**ボランティアで行う清掃等の環境美化活動を支援**する制度です。

環境美化に対する地域住民の意識高揚を図るとともに、ごみの散乱・不法投棄を防止し、**県民と行政が一体となった地域活動を推進**することを目的としています。

### 【参加資格】

10人以上の**団体**とする。(原則として100m以上の区間とする)

### 【支援の内容】

- ① 軍手・ごみ袋などの提供または報償金の支給
- ② 収集したごみ等の運搬にかかるレンタカー使用料の支援
- ③ ボランティア活動保険等への加入費用の支援
- ④ 参加団体及び活動区間等が記載された看板の製作

### 【募集期間】

随時受けています。

### 【申し込み】

最寄りの広域振興局土木部及び土木センター

実施要領、申し込み様式については**岩手県のホームページをご覧ください。**

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kasensabou/kasen/1009922/1009925.html>



写真 ボランティア団体による活動

こちらからもアクセスできます！



### 【ボランティア活動等支援制度お問い合わせ先】

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| ○ 盛岡広域振興局土木部          | 電話:019-651-3111 |
| ○ 盛岡広域振興局土木部岩手土木センター  | 電話:0195-62-2888 |
| ○ 県南広域振興局土木部          | 電話:0197-22-2881 |
| ○ 県南広域振興局土木部花巻土木センター  | 電話:0198-22-4971 |
| ○ 県南広域振興局土木部北上土木センター  | 電話:0197-65-2738 |
| ○ 県南広域振興局土木部遠野土木センター  | 電話:0198-62-9938 |
| ○ 県南広域振興局土木部一関土木センター  | 電話:0191-26-1418 |
| ○ 県南広域振興局土木部千厩土木センター  | 電話:0191-52-4971 |
| ○ 沿岸広域振興局土木部          | 電話:0193-25-2708 |
| ○ 沿岸広域振興局土木部宮古土木センター  | 電話:0193-64-2221 |
| ○ 沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター  | 電話:0194-22-3116 |
| ○ 沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター | 電話:0192-27-9919 |
| ○ 県北広域振興局土木部          | 電話:0194-53-4990 |
| ○ 県北広域振興局土木部二戸土木センター  | 電話:0195-23-9209 |

# 洪水から守ろうみんなの地域！

～5月は水防月間です～

## 河川課

私達の住んでいる日本は、雨量が多く、急こう配の河川が多い等の条件により、洪水が発生しやすい危険性を持っています。本県を含め各地域では、昔から生命や財産を水害から守るため治水対策が行われていますが、多くの費用と長い期間が必要とされるので、まだまだ水害を根絶するには至っておりません。

そこで、機敏な対応で水害を未然に防ぎ、また被害を少なくする「水防活動」が自分たちの地域を守るうえで重要な役割を担っています。

### 水防活動とは？

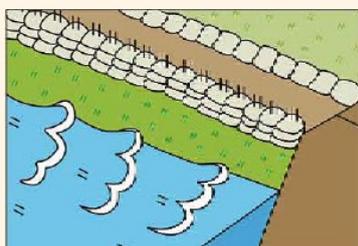
水防活動とは、水害の発生を警戒したり、土のうなどで水が溢れるのを防ぐ活動です。堤防などの能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水が発生することもあるため、それを事前に防ぐための活動はとても重要なものとなっています。また、水防活動は水害発生時のみならず、事前に水防に必要な道具が不足していないか点検を行い、河川の巡視をして、水防活動時に危険が無いか確認を行うなど、日頃からの備えがとても重要です。



▲令和2年7月12日～13日  
一戸町消防団活動状況（馬淵川左岸）

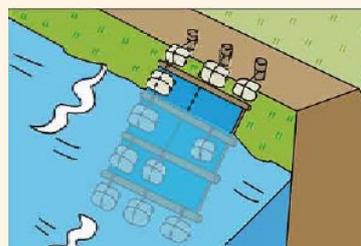
### 水防工法について

水害が発生しそうな場合、堤防の決壊を未然に防いだり、水害を最小限に食い止めることを目的に、状況に応じて下図に示すような最適な水防工法を実施します。



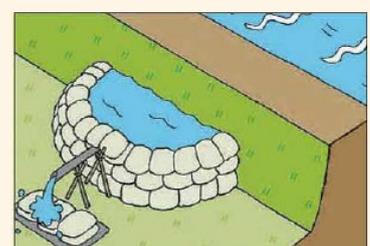
#### ■積み土のう工法

堤防の上に土のうを積み上げて、水が堤防を越えるのを防ぐ工法で、水防工法の基本ともいえる工法です。ひとつの土のうには、20～30kgの土や砂が詰められ、様々な工法にも使用されています。



#### ■シート張り工法

水の流れて堤防が削り取られたり、水が漏れたりしないように、防水シート（マット・畳等）を張って堤防を守ります。



#### ■月の輪工法

堤防の裏側に水が漏れだしたとき、半円形に土のうを積んで、川の水位と漏れた場所との水位の差を縮めて圧力を弱め、水漏れが広がるのを防ぎます。